

第1部 戦争遺跡一覧

日本全国には、およそ2万から3万件の戦争遺跡があるといわれている。一部は文化財に指定・登録されているが、全容は十分に調査されておらず、長い時を経て失われつつあるものも多い。そのような状況で戦後80年を迎え、愛知県では市町村の協力を得て2023年度から2025年度にかけて県内の戦争遺跡調査を実施した。

第1部では、調査によって把握した戦争遺跡を一覧で示す。

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
001	軍需工場	名古屋陸軍兵器補給廠	名古屋市千種区	北千種	敷地東端にコンクリート塀、北辺に「陸軍省」銘石製境界柱	—	95
002	空襲・戦災	千種公園の被災塀		若水	千種公園に名古屋陸軍兵器補給廠の被災コンクリート塀を移設	—	95
003	軍事施設	猫ヶ洞演習場の境界柱		下方町	「陸軍」銘石製境界柱	—	95
004	空襲・戦災	平和公園の被災墓碑		平和公園	大原幽学墓碑などに被災跡	—	96
005	その他	名古屋陸軍墓地		平和公園	墓碑など730余基、昭和31年(1956)東区出来町から移設	—	96
006	軍事施設	第三師管区司令部の建物	名古屋市東区	城山町	昭和20年(1945)2月、旧昭和塾堂に移転とされる ^{※2}	—	—
007	空襲・戦災	城山八幡宮の被災標柱・鳥居		城山町	境内西方に欠けた標柱、南参道下の石製鳥居には傷跡があったとされる ^{※2}	—	—
008	空襲・戦災	片山八幡神社の被災鳥居・灯笼	名古屋市東区	徳川	境内の鳥居2基、灯笼複数に被災と思われる跡	—	96
009	その他	山口神明社の楠木正成像		徳川	境内に騎乗銅像、像の高さ105cm、昭和15年(1940)建立 ^{※1}	—	96
010	その他	金城女子専門学校の奉安庫		白壁	昭和11年(1936)RC造の講堂内に造り付け、高さ140cm幅190cm奥行60cm ^{※1}	—	97
011	空襲・戦災	養念寺の被災鐘		泉	昭和20年(1945)3月25日、喚鐘に爆弾の破片が貫通	—	97
012	その他	圓明寺の梵鐘代替品		泉	昭和17年(1942)梵鐘供出後、花崗岩製梵鐘を鐘楼に設置	—	97
013	空襲・戦災	綿神社の被災鳥居	名古屋市北区	元志賀町	昭和20年(1945)5月14日の空襲により木製鳥居焼失、鳥居の花崗岩製の基部のみ残存	—	97
014	空襲・戦災	長栄寺の被災山門		柳原	昭和20年(1945)5月14日の空襲で被災、山門上部が炭化とされる ^{※2}	—	—
015	その他	日比津の乃木希典像	名古屋市中村区	日比津町	忠魂場に花崗岩製、像の高さ190cm、昭和9年(1934)建立 ^{※1}	—	98
016	その他	広井神明社の乃木希典像		名駅	神明社入口に花崗岩製、像の高さ116cm、台座165cm ^{※1}	—	98
017	軍事施設	乃木倉庫	名古屋市中区	本丸	明治期の煉瓦造弾薬庫	国登録	19
018	空襲・戦災	名古屋城の被災石垣		本丸	昭和20年(1945)5月14日の空襲により大小天守焼失、石垣・礎石に焼け跡	国指定	22
019	軍事施設	第三師団司令部		三の丸	現水資源機構中部支社の南東隅に煉瓦塀・土塁の一部、防空壕、神社基壇	—	25、26
020	その他	名古屋市役所の偽装跡		三の丸	6階東側の外壁に黒色に塗装した跡	国指定	22
021	その他	名古屋市役所北の松やに採取跡		三の丸	6本の松の幹にV字形の傷跡	—	98
022	その他	名古屋通信局の奉安庫		三の丸	間口282cm奥行140cm高さ148cm、現日本郵政(株)東海支社内にあったとされる ^{※2}	—	—

※1：寸法は『愛知県史』戦争遺跡位置図表または2023年度基礎調査に基づく。

※2：内容は『愛知県史』または2023年度基礎調査に基づく。

.....不明

.....滅失

番号	種別	名 称	市町村	所在地	説 明	指定 登録	本文 掲載
023	軍事施設	高射第二師団司令部の建物	名古屋市 昭和区	鶴舞	昭和 5 年 (1930) 完成した名古屋市公会堂を使用	国登録	22
024	空襲・戦災	被災した檀溪之勝蹟碑		五軒家町	昭和 20 年 (1945) 3 月 25 日被災し損傷、後に移設	—	98
025	空襲・戦災	西福寺の被災標柱		円上町	空襲により花崗岩製標柱の上部破損	—	99
026	空襲・戦災	中山神明社の被災鳥居	名古屋市 瑞穂区	中山町	境内の花崗岩製鳥居・灯籠に被災跡	—	99
027	空襲・戦災	八剣神社の被災鳥居		御劔町	境内の花崗岩製鳥居上部に被災跡	—	99
028	空襲・戦災	佐渡町の被災した門と楓		佐渡町	昭和 20 年 (1945) 5 月 17 日、焼夷弾により焦げた跡と傷	—	99
029	空襲・戦災	龍泉寺の被災地蔵		井戸田町	昭和 20 年 (1945) 5 月 17 日の空襲により砂岩製地蔵の顔が欠ける	—	100
030	軍需工場	陸軍造兵廠熱田製造所の建物	名古屋市 熱田区	六野	明治 37 年 (1904) からの煉瓦造建物 4 棟、現中京倉庫 (株)	—	100
031	軍需工場	陸軍造兵廠高蔵製造所の建物		六野	三五 (株) に煉瓦造の建物 1 棟、平成 17 年 (2005) 滅失とされる ^{*2}	—	—
032	空襲・戦災	梅萼院の被災門柱	名古屋市 中川区	白鳥	昭和 20 年 (1945) 6 月 9 日、花崗岩製門柱の上部が被災破損	—	100
033	空襲・戦災	堀川堤防の被災跡		千年	堀川右岸、昭和 20 年 (1945) 6 月 9 日被災	—	100
034	空襲・戦災	千年八幡神社の被災灯籠		千年	花崗岩製灯籠に被災跡	—	101
035	空襲・戦災	千年八幡社の被災鳥居・石柱		千年	石製鳥居や標柱に被災跡	—	101
036	空襲・戦災	熱田神宮の被災鳥居		神宮	南門木造鳥居に被災と伝えられる跡	—	101
037	空襲・戦災	露橋下水処理場の被災跡		広住町	鉄製ゲート・ポンプ室入口大谷石などに被災跡があったとされる ^{*2}	—	—
038	軍需工場	愛知航空機 (株) 永徳工場のすべり (スリップ)	名古屋市 港区	野跡	水上機用コンクリート造滑走台、幅 31m 長さ 70m 余 ^{*1}	—	101
039	空襲・戦災	善光寺の被災跡		港陽	昭和 20 年 (1945) 6 月 26 日、爆弾破片により堂内に被災跡があったとされる ^{*2}	—	—
040	空襲・戦災	名古屋港の被災灯台	名古屋市 南区	潮凧町	10 号地潮凧埠頭先端のコンクリート造灯台 (移設)	—	102
041	空襲・戦災	山崎橋の被災親柱		呼続	明治 21 年 (1888) 建の石製親柱、昭和 20 年 (1945) 空襲により被災 (移設)	—	102
042	軍事施設	高射砲隊・笠寺陣地		見晴町・貝塚町	高射砲第二百二十四連隊第八中隊、第二大隊本部、現笠寺公園内	—	27~30
043	その他	宮前の防空壕	名古屋市 守山区	中志段味	諏訪神社北のがけ下に横穴 2 箇所入口	—	102
044	空襲・戦災	志段味の爆弾穴		中志段味	雑木林の中に直径 13m 深さ 5m の穴が 2 箇所あったとされる ^{*2}	—	—
045	軍事施設	東海軍管区司令部の地下壕	名古屋市 守山区	吉根	丘陵端斜面中腹に素掘りの壕 2 基 (長さ 32m・24m) があったとされる ^{*2}	—	—
046	軍需工場	陸軍造兵廠鳥居松製造所の防空壕		竜泉寺	竜泉寺霊園西の丘陵斜面に素掘り壕が 5 基あったとされる ^{*2}	—	—
047	軍事施設	高射砲隊・竜泉寺陣地		牛牧	高射砲第二百五連隊第一中隊、兵舎跡が 3 箇所あったとされる ^{*2}	—	—
048	軍事施設	小幡演習場の境界柱・塹壕	名古屋市 守山区	小幡	「陸軍省所轄地」銘石製境界柱 4 基、長塚古墳に塹壕	—	102
049	軍事施設	高射砲隊・翠松園陣地		小幡	高射砲第二百五連隊第二中隊、コンクリート砲台跡があったとされる ^{*2}	—	—
050	軍事施設	騎兵第三連隊本部	名古屋市 守山区	守山	木造 1 棟、石製境界柱 2 基、現陸上自衛隊守山駐屯地内	—	31、32
051	その他	守山町立青年学校の奉安殿		廿軒家	木造入母屋造瓦葺、漆喰白壁造、神明社境内に移築	—	103
052	軍需工場	名古屋陸軍兵器補給廠守山分廠の境界柱		森孝	石製境界柱、地表部 16cm × 16cm × 30cm 2 基 ^{*1}	—	103
053	空襲・戦災	丹下町の被災常夜灯	名古屋市 緑区	鳴海町	街道沿いの石製常夜灯上部宝珠が爆撃により飛散 (現在は修復済)	—	103
054	その他	大高国民学校の奉安殿		大高町	コンクリート造奉安殿が地中から掘り出され八幡社の隅に復元	—	103

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
055	軍事施設	大高町の陣地壕	名古屋市緑区	大高町	人工と思われる壕跡らしきものが2箇所	—	104
056	空襲・戦災	八事霊園の被災墓石	名古屋市天白区	天白町大字八事裏山	八事霊園北西部の法蔵寺墓地に被災墓石1基	—	104
057	軍事施設	海軍施設部の地下壕		音間山	横須賀海軍施設部名古屋支部の2基の壕(宅地化埋没)とされる ^{*2}	—	—
058	空襲・戦災	相生山緑地の爆弾穴		菅田	緑地内に穴11箇所	—	33~36
059	軍事施設	犬山演習廠舎の境界柱	犬山市	犬山	「陸軍用地」銘石製境界柱が犬山市立犬山北小学校に移転、1基は建てられ、1基は地面に置かれる	—	104
060	その他	願入寺の梵鐘代替品		犬山	コンクリート製、高さ124cm 直径73cm、木曾川堤の社に安置されていたが願入寺門前に移設 ^{*1}	—	104
061	軍需工場	岡本工業(株)善師野工場		善師野	縦横に素掘り隧道総延長500m、発電機の土台があったとされる ^{*2}	—	—
062	軍需工場	三菱重工業(株)楽田工場		高根洞	三菱重工業(株)名古屋発動機製作所の疎開地下工場	—	105
063	軍事施設	歩兵第六連隊の兵舎		内山	博物館明治村に移築(元中区三の丸)、第十中隊木造2階建	国登録	19
064	軍事施設	名古屋陸軍病院の建物		内山	博物館明治村に移築(元中区三の丸)、寄棟造瓦葺平屋建	県指定	19
065	その他	滝実業学校の奉安庫	江南市	東野町米野	高さ241cm 幅271cmの木製扉の中、現滝学園のRC造講堂正面 ^{*1}	国登録	22
066	軍事施設	小牧山の軍防空壕	小牧市	堀の内	防空壕らしき窪地が7箇所、うち2箇所は入口が木柵で閉じられている	国指定	23
067	その他	小牧山南麓の忠魂碑		堀の内	旧小牧町出身戦没者を顕彰したもの、大正11年(1922)3月8日建立	—	105
068	その他	旧制小牧中学校の御真影奉掲所		小牧	現小牧高等学校の鉄筋コンクリート造平屋建講堂正面奥	—	105
069	その他	渡辺錠太郎銅像		小牧	昭和14年(1939)2月に小牧山東登山口に建立、後西林寺に移設	—	105
070	その他	「御宇立聖蹟」碑、「御統監之址」碑		堀の内(小牧山山頂)、岩崎獨山(岩崎山山頂)	陸軍特別大演習における昭和天皇の行幸、統監を記念した石碑	—	106
071	軍事施設	名古屋陸軍幼年学校		下末字川向・山畑ほか	現中部管区警察学校、ボイラー室・薪炭庫・東門・西門があったとされる ^{*2}	—	—
072	軍需工場	名古屋陸軍造兵廠西山分廠の建造物	春日井市	西山町	RC造6棟・トンネルなど、現陸上自衛隊春日井駐屯地内	—	106
073	軍需工場	引込み線の橋梁		玉野町・西山町	名古屋陸軍兵器補給廠高蔵寺分廠・造兵廠鷹来製造所西山分廠関係の軍用鉄道引込み線、路床・鉄橋跡	—	37~40
074	軍需工場	名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所の本館		鷹来町	地下1階地上4階、現名城大学春日井キャンパス(農学部付属農場)本館	—	106
075	その他	篠木国民学校の奉安殿		大泉寺町山畑	木造入母屋造瓦葺、板張壁、退休寺境内に移築	—	106
076	その他	鳥居松国民学校の奉安殿		八田町	木造千鳥破風付瓦葺、昭和13年(1938)現鳥居松小学校校庭内に建立	—	107
077	軍事施設	陸軍小牧飛行場の作戦室		中町	コンクリート造、半地下式、東西約20m、南北約10m、現民家 ^{*1}	—	107
078	軍事施設	鳥居松憲兵分隊の境界柱		鳥居松町	「陸軍」銘石製境界柱4基、現ヤマナカ鳥居松店	—	107
079	軍需工場	名古屋陸軍造兵廠鳥居松製造所		王子町	RC造建物など5棟、鉄道門、中央本線からの引込線、射撃場外壁、現王子製紙(株)	—	107
080	その他	鳥居松国民学校の旧奉安殿		上条町	木造切妻造瓦葺土蔵風、昭和13年(1938)泰岳寺境内に移築	—	108
081	その他	小野国民学校の奉安殿		松河戸町村中	木造入母屋造瓦葺、板張壁、道風記念館前的小野社に移築	—	108
082	軍事施設	陸軍小牧飛行場の飛行機用掩体		春日井上ノ町・中町	コンクリート造4基、現航空自衛隊小牧基地内	—	108
083	軍需工場	名古屋陸軍兵器補給廠高蔵寺分廠の建造物		高座町・玉野町	昭和16年8月10日建造の有蓋倉庫5棟など、現航空自衛隊高蔵寺分屯基地内	—	108
084	その他	養願寺の梵鐘代替品	一宮市	木曾川町里小牧	花崗岩製直径61cm、逆さにして香炉に利用と聞き取り ^{*1}	—	109
085	その他	勝宝寺の梵鐘代替品		浅井町河端	昭和18年(1943)造、コンクリート製、高さ120cm 直径82cmとされる ^{*2}	—	—

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
086	その他	起町第二国民学校の奉安殿	一宮市	三条字苅	三條神社境内に木造入母屋造銅板葺、本体コンクリート造	国登録	20
087	その他	萩原国民学校の奉安殿		萩原町萩原	民家に稲荷社として移築、入母屋造銅板葺、板張壁とされる ^{*2}	—	—
088	その他	正瑞寺の梵鐘代替品		萩原町萩原	昭和18年(1943)3月造、花崗岩製、高さ100cm 直径88cm ^{*1}	—	109
089	その他	徳善寺の帰還喚鐘	稲沢市	大塚北	撞座部分左右に異なる破損穴あり、金属供出によるものと思われる	—	109
090	軍事施設	陸軍清洲飛行場の建造物		増田東町	木造平屋建て、現在は区の倉庫として使用	—	109
091	軍事施設	陸軍清洲飛行場の滑走路等	清須市	土田	清洲飛行場に関連する滑走路や格納庫など関連施設があったとされる ^{*2}	—	—
092	軍事施設	陸軍清洲飛行場の作戦室	あま市	石作	飛行第五戦隊作戦室、コンクリート造の建造物	—	41、42
093	その他	七宝国民学校の御真影奉揚所		七宝町	現あま市立七宝小学校の木造平屋建講堂正面、昭和11年(1936)建造	—	110
094	その他	津島神社の防空壕	津島市	神明町	本殿裏にコンクリート造の地下防空壕	—	110
095	その他	旧制第三中学校の御真影奉揚所		宮川町	現津島高等学校の木造平屋建講堂正面、大正13年(1924)建造とされる ^{*2}	—	—
096	軍需工場	旭兵器(株)の本社事務棟	尾張旭市	旭前町	現旭サナック(株)本館	国登録	20
097	軍需工場	旭兵器(株)の講堂		旭前町	現旭サナック(株)、木造平屋建の講堂があったとされる ^{*2}	—	—
098	軍事施設	本地ヶ原陸軍演習場の境界柱		緑町緑ヶ丘	「陸軍省所轄地」銘石製境界柱	—	110
099	軍事施設	本地ヶ原演習場廠舎の基礎・境界柱		緑町緑ヶ丘・南新町	廠舎の基礎、石製境界柱	—	110
100	軍事施設	本地ヶ原飛行場の飛行機用掩体基礎		南栄町	幅20m奥行10mほどの掩体コンクリート基礎と思われる遺構がある ^{*1}	—	111
101	軍需工場	愛知航空機(株)瀬戸工場	瀬戸市	上本町	コンクリート造坑道口5箇所以上、コンクリート造貯水槽など	—	43~46
102	その他	法雲寺の梵鐘代替品		深川町	昭和17年(1942)造、陶製、高さ115cm 直径79cm ^{*1}	市指定	20
103	軍需工場	愛知航空機(株)菱野覆土工場		緑町	半地下式で木組みのアーチ状、建物20万㎡の約半分が終戦時までに完成とされる ^{*2}	—	—
104	その他	東本地町の防空壕		東本地町	幅1m高さ1.2m長さ6.7m、ほかにL字形素掘りの横穴があったとされる ^{*2}	—	—
105	その他	新田町の防空壕		新田町	庭先丘下に幅0.7mの素掘りの横穴が2箇所あったとされる ^{*2}	—	—
106	その他	幡中町の防空壕		幡中町	丘下に素掘りの横穴4箇所	—	111
107	その他	掛下町の防空壕		掛下町	幅1m高さ1.8m長さ10mの素掘りの横穴があったとされる ^{*2}	—	—
108	その他	五色園の楠公父子像	日進市	岩藤町	公園内に花崗岩製、像の高さ正成170cm、正行75cm ^{*1}	—	111
109	軍事施設	照空隊・米野木陣地		米野木町	高射砲第二百二十五連隊第十四中隊第六分隊の照空隊陣地、土塁や壕などがあったとされる ^{*2}	—	—
110	その他	米野木町の防空壕		米野木町	崖状斜面を利用、砂礫層を素掘り、入口が3箇所あったとされる ^{*2}	—	—
111	その他	日進変電所の防空壕		赤池町	コンクリート造で内部は幅0.8m長さ7m、上部はかまぼこ形 ^{*1}	—	111
112	軍事施設	高射砲隊・名和陣地	東海市	名和町	高射砲第二百二十四連隊第七中隊、砲台・兵舎・弾薬庫など	—	47~50
113	軍需工場	知多飛行場の滑走路・掩蓋		富木島町	滑走路(現道路)、掩蓋	—	112
114	その他	旧加木屋国民学校の奉安殿		加木屋町	旧加木屋国民学校に建設された奉安殿を戦後熊野神社に移設と伝わる ^{*2}	—	—
115	その他	加治慶之助邸の防空壕	大府市	桃山町	大正8~10年頃(1919~21)建立、後にコンクリート製の防空壕がつくられた	国登録	23
116	軍需工場	三菱重工業(株)大府工場		梶田町	幅8m×長さ75.5mと幅8m×長さ34m、半地下式疎開工場とされる ^{*2}	—	—

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
117	その他	忠魂碑・記念碑（荒古後）	知多市	八幡	明治～昭和初期の忠魂碑等、石材の一部は古墳の天井石と伝えられる	—	112
118	その他	乃木希典像		緑町	陶製、高さ74.3cm、新田小学校旧蔵、現知多市歴史民俗博物館収蔵資料 ^{*1}	—	112
119	軍事施設	探照灯台・砲台跡		新知	龍雲院の裏山の尾根上に1m×2m程度の箱状の素掘り穴が複数あったとされる ^{*2}	—	—
120	その他	神明社の鳥居		原	日露戦争戦役記念として明治38年（1905）9月建立	—	112
121	その他	忠魂碑・記念碑（竹ヶ鼻）		佐布里	西南戦争、日清戦争、日露戦争の忠魂碑・記念碑、多度神社から移設	—	113
122	その他	忠魂碑・記念碑（太郎坊）		岡田	岡田小学校の南側の道路を挟んだ一区画に石碑3基	—	113
123	その他	岡田の防空壕（宝ノ脇）		岡田	コンクリートブロックで封鎖、内部の様子不明	—	113
124	その他	岡田の凱旋橋		岡田	日長川に「明治三十八年九月」銘の石造橋	—	113
125	その他	岡田の防空壕（高見）		岡田	隣組「開戸東組」築造の民間防空壕、内部の様子不明	—	114
126	その他	岡田の防空壕（中谷）		岡田	総延長約20mの「コ」の字型、片側は土管を用いた明り取り ^{*1}	—	114
127	その他	忠魂碑・記念碑（大口）		新舞子	当時の旭村および旭町の日露戦争及び太平洋戦争の忠魂碑など	—	114
128	空襲・戦災	境川鉄橋の被弾橋台	東浦町	森岡	東海道本線鉄橋西側石積み橋台に機銃弾跡があったとされる ^{*2}	—	—
129	軍事施設	照空隊・緒川陣地		緒川	高射砲第二百二十四連隊第十七中隊、兵舎跡があったとされる ^{*2}	—	—
130	軍事施設	照空隊・上鰻池陣地		緒川桐池四区	高射砲第二百二十四連隊第十七中隊第一分隊の跡があったとされる ^{*2}	—	—
131	その他	萩の防空壕	阿久比町	萩字曾根	崖に素掘りの横穴防空壕、入口1箇所	—	114
132	その他	矢高の防空壕		矢高	コの字形民間防空壕の入口部1箇所、個人用2箇所があったとされる ^{*2}	—	—
133	その他	東龍寺の梵鐘代替品	常滑市	大野町	コンクリート製で高さ95cm 直径68cm、東屋に安置 ^{*1}	—	115
134	空襲・戦災	正住院の機銃弾跡		保示町	昭和20年（1945）8月4日、グラマン機により本堂扉上部を貫通	—	115
135	その他	小鈴谷防空監視哨		大谷	哨舎のコンクリート基礎、素掘り防空壕・交通壕	—	115
136	その他	望洲楼の防空壕	半田市	亀崎町	床下にコンクリート造防空壕、腰掛付き	—	115
137	軍需工場	平地女子寮の防火用水槽		花田町	長辺5.8m 短辺3.3mのコンクリート造水槽があったとされる ^{*2}	—	—
138	軍需工場	中島飛行機（株）の滑走路・駐機場		中津町	コンクリート造滑走路端、駐機場（エプロン）跡、側溝	—	116
139	空襲・戦災	中島飛行機（株）衣糧倉庫の弾痕		榎下町	昭和20年（1945）7月15日、煉瓦倉庫北面に被弾	国登録	23
140	軍需工場	中島飛行機（株）の建物基礎		八軒町	コンクリート基礎7基、「彩雲」組立工場とされる ^{*2}	—	—
141	空襲・戦災	亀洲の被災墓石		瑞穂町	昭和20年（1945）7月24日被災、共同墓地内に破損した墓石	—	116
142	その他	半田防空監視哨		中村町	旧東海銀行、中笠酢店本店事務所の屋上に監視台があったとされる ^{*2}	—	—
143	その他	半田高等女学校の防空壕		白山町	竹藪にコの字形防空壕の跡、通路と陥没した跡があったとされる ^{*2}	—	—
144	軍需工場	武豊地下燃料貯蔵庫	武豊町	下山ノ田	大阪陸軍航空補給廠武豊出張所、待避壕・坑道入口跡があったとされる ^{*2}	—	—
145	軍事施設	野間前進監視哨	美浜町	野間	民家2階を高射砲部隊隊員宿舎に使用	—	116
146	軍事施設	河和海軍航空隊基地指揮所		豊丘	半地下式のコンクリート製の壕、内部は3つのかまぼこ形の部屋	町指定	20
147	軍事施設	河和海軍航空隊基地		古布・浦戸・豊丘	滑走台・機体整備場基礎・門柱・貯水槽など	—	51～54

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
148	その他	宝積院の土壁の鐘楼	南知多町	内海字北向	梵鐘供出後、鐘楼を土壁で囲って倒壊を防止	—	116
149	その他	中之院の軍人像		山海土間	名古屋市千種区月ヶ丘墓地より中之院境内に移設	—	117
150	軍事施設	大井特攻基地の地下壕		大井	第四特攻戦隊第十三突撃隊第十五回天隊予定、素掘り壕があったとされる ^{*2}	—	—
151	軍事施設	片名特攻基地の地下壕		片名	第四特攻戦隊第十三突撃隊第六震洋隊予定、コンクリート壕	—	117
152	軍事施設	カノン砲の弾薬庫		大字篠島汐味	間口奥行きともに1間、高さ約2m、煉瓦造の建物2棟、カノン砲の弾薬庫と推定 ^{*1}	—	117
153	その他	稲橋防空監視哨	豊田市	稲武町馬野	夏焼城本曲輪に哨舎・便所のコンクリート基礎	—	117
154	その他	阿摺中部国民学校の乃木希典・東郷平八郎像		大蔵町横手山	観世音寺境内に花崗岩製の乃木像170cm、東郷像157cm ^{*1}	—	118
155	その他	阿摺南部国民学校の奉安殿		新盛町深沼	現豊田市長新盛小学校校庭に倉庫として改造、木造切妻屋根、土蔵造	—	118
156	軍需工場	豊田製鋼工場疎開跡		石野地区	横穴・削平地・平坦地があったとされる ^{*2}	—	—
157	その他	足助国民学校の御真影奉揚所		足助町今岡	現豊田市長足助小学校の木造平屋建講堂正面、昭和13年(1938)建造	—	118
158	その他	幸海国民学校の乃木希典像		幸海町下御堂下切	花崗岩製、像の高さ163cm、昭和13年(1938)建立、忠魂場に移設 ^{*1}	—	118
159	その他	坂上町のB29墜落地		坂上町空田	昭和20年(1945)1月3日、B29が墜落した地点に案内板	—	119
160	その他	滝脇国民学校の乃木希典像		林添町	砂岩製、像の高さ115cm、忠魂場に移設 ^{*1}	—	119
161	軍事施設	岡崎海軍航空隊基地		福受町・榎塚西町ほか	倉庫(現野田味噌店味噌蔵)、「海軍用地」銘石製境界柱、手水鉢など	—	119
162	軍事施設	名古屋海軍航空隊基地		浄水町、貝津町	宮門、コンクリート造の通信壕・送信所など	—	119
163	その他	大覚寺の梵鐘代替品	みよし市	打越町	高さ75cm直径50cm、中身までコンクリート製 ^{*1}	—	120
164	軍事施設	依佐美送信所	刈谷市	高須町	昭和16年(1941)頃より海軍対艦通信専用、鉄塔の基礎コンクリートが残る	—	120
165	軍需工場	名古屋陸軍兵器補給廠知立支所	知立市	西町神田	昭和19年(1944)12月に知立神社境内養正館に移転設置	—	120
166	その他	忠義護邦家	安城市	里町森	昭和6年(1931)10月建立、石垣の基壇で方角柱の碑の最上部が砲弾形	—	120
167	その他	安城第五尋常小学校の奉安殿の玉垣		今本町	昭和15年(1940)2月10日落成、奉安殿の花崗岩製玉垣1個が残る	—	121
168	その他	忠魂護邦家		今本町	大正9年(1920)4月建立、方角柱の碑の上部に青銅製の地球と鷲がある	—	121
169	その他	御用地遺跡 防空壕		柿崎町御用地	岡崎海軍航空隊の兵士の防空壕や建物を固定するハンド状遺構があったとされる ^{*2}	—	—
170	その他	明専寺の梵鐘代替品		篠目町本郷	コンクリート製、高さ57cm直径45cm、竜頭部はU字形鉄棒とされる ^{*2}	—	—
171	その他	楓(皇紀二千六百年植樹)および石碑		桜町	皇紀二千六百年祭を機に楓26本を現在の安城公園に植えたことが記される	—	121
172	その他	受領院の梵鐘代替品		末広町	186cm×25cm×15cmと173cm×24cm×15cmの花崗岩製角柱2本とされる ^{*2}	—	—
173	その他	「天壤無窮」銘石造物		安城町宮地	昭和15年(1940)12月建立、剣形石造物	—	121
174	その他	「八紘一宇」銘石造物		安城町宮地	石灯笼、正面に「八紘一宇」、側面に「皇紀二千六百年」など	—	122
175	その他	旧宝泉院の梵鐘代替品		安城町城堀	コンクリート製、高さ108cm直径80cm、安城市埋蔵文化財センター蔵 ^{*1}	—	122
176	その他	和泉の乃木希典像		安城町城堀	和泉保育園建設中に発見された、現存長140cm、頭部・右脚等を欠損、安城市埋蔵文化財センター蔵 ^{*1}	—	122
177	その他	了雲院墓地の乃木希典像		安城町横町	個人墓域に花崗岩製、像の高さ82cm、帽子をとった形とされる ^{*2}	—	—
178	その他	軍馬霊		安城町荒下	正面に明治37・38年戦役斃死軍馬霊、背面に明治39年4月21日	—	122

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
179	その他	福釜の乃木希典像	安城市	福釜町宮添	忠魂場に砂岩製、像の高さ159cm、昭和11年(1936)建立 ^{*1}	—	123
180	その他	表忠碑(福釜神明神社)		福釜町宮添	大正9年(1920)3月建立、方角柱の碑の上に青銅製の地球と鷲がある	—	123
181	その他	奉安殿跡		福釜町猿渡	昭和15年(1940)12月17日竣工式、奉安殿撤去後に石碑建立	—	123
182	その他	高棚神明神社の乃木希典像		高棚町中敷	花崗岩製、高さ180cm、昭和19年(1944)2月11日建立 ^{*1}	—	123
183	その他	高棚神明神社の東郷平八郎像		高棚町中敷	花崗岩製、高さ170cm、昭和19年(1944)2月11日建立 ^{*1}	—	124
184	その他	本楽寺の梵鐘代替品		赤松町新屋敷	コンクリート製、高さ100cm 直径70cm ^{*1}	—	124
185	その他	古井記念碑場の乃木希典像		古井町豊日	古井神社の記念碑場に安置、花崗岩製で像の高さ146cm ^{*1}	—	124
186	その他	表忠碑(八剣神社)		榎前町北榎	昭和2年(1927)10月建立、丸石を用いて石垣を造り板状の碑がある	—	124
187	その他	和泉大地蔵尊		和泉町上之切	明治40年(1907)正月建立、人間の大きさ程の大地蔵	—	125
188	その他	本龍寺の梵鐘代替品		和泉町中本郷	コンクリート製、高さ84cm 直径74cm、鐘楼横に安置 ^{*1}	—	125
189	その他	桜井靖霊神社の乃木希典像		桜井町城阿原	花崗岩製、高さ123cm、昭和11年(1936)度に建立 ^{*1}	—	125
190	その他	蓮泉寺の梵鐘代替品		小川町志茂	花崗岩製「昭和十八年四月」銘、高さ85cm 直径76cm ^{*1}	—	125
191	その他	明治第五国民学校の乃木希典像		城ヶ入町雨池	白山神社境内に花崗岩製、像の高さ165cm ^{*1}	—	126
192	その他	本證寺境内遺跡 防空壕		野寺町野寺	土塁遺構に寺の文化財の避難用に設けられた防空壕があったとされる ^{*2}	—	—
193	その他	長因寺の偽装跡	木戸町南屋敷	空襲の標的にならないように、コールトールで黒く塗った跡が残る軒平瓦	—	126	
194	軍事施設	岡崎海軍航空隊基地の防空監視塔	橋目町	コンクリート造、「開拓記念碑」に使用、市営墓地内	—	126	
195	軍事施設	明治海軍航空隊基地	根崎町・東端町・和泉町	コンクリート造燃弾庫(油貯蔵庫、燃料油庫)、弾薬庫	—	55~58	
196	その他	正念寺の梵鐘代替品	岡崎市	中町野添	陶製、高さ92cm 直径68cm、岡崎東本願寺三河別院蔵 ^{*1}	—	126
197	その他	六供町の防空壕	六供町	民家に壁は石積みで天井はコンクリート造の防空壕があったとされる ^{*2}	—	—	
198	その他	甲山八幡宮の防空壕	六供町	境内にL字形素掘りの民間防空壕があったとされる ^{*2}	—	—	
199	軍事施設	岩津飛行場の掩体	岩津町車塚	丘陵斜面を掘削し岡崎海軍航空隊の飛行機格納庫が3基あったとされる ^{*2}	—	—	
200	空襲・戦災	両町の被災常夜灯	両町	昭和20年(1945)7月20日被災、後に宝珠と台石の一部を保存	—	127	
201	その他	豊富防空監視哨	榎山町北岡	山頂に哨舎のコンクリート基礎、タコツボ多数(埋没)があったとされる ^{*2}	—	—	
202	その他	追進農場の御真影奉掲所	美合町	木造平屋建講堂正面、現愛知県立農業大学校内	—	127	
203	その他	旧制第二中学校の御真影奉掲所	針崎町	木造平屋建講堂正面、元日清紡績(株)針崎工場内講堂	国登録	23	
204	軍事施設	鉢地坂隧道	岡崎市・蒲郡市境	交通を遮断し軍の弾薬置場に使用	—	127	
205	軍事施設	歩兵第六連隊の被服庫	高浜市	新田町	木造寄棟造瓦葺2階建、昭和40年(1965)、現橋本電機工業(株)へ移築	—	127
206	その他	明治第二国民学校の乃木希典像	碧南市	半崎町	明治第二国民学校の一角にあり、終戦後に八剣神社境内忠魂場に移設	—	128
207	その他	旭村日進国民学校の奉安殿	平七町	コンクリート造入母屋造銅板葺、霞浦神社境内	—	128	
208	その他	米津神社の山本五十六像	西尾市	米津町宮浦	石製、高さ175cm、左手に軍刀を持って立つ ^{*1}	—	128
209	その他	米津神社の乃木希典像	米津町宮浦	石製、高さ166cm、軍刀に両手を添えて立つ ^{*1}	—	128	

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載	
210	その他	熊野神社の乃木希典像	西尾市	上町浜屋敷	コンクリート製、像の高さ 178cm、初め民家に銅像建立 ^{*1}	—	129	
211	軍事施設	小間町の壕		小間町	鉄筋コンクリート造、断面半円形の壕 2 基、「電波探信所」と伝わる	—	59,60	
212	その他	平坂第一国民学校の奉安殿		中畑町宮前	八幡社境内、コンクリート造神明銅板葺	—	129	
213	その他	平坂第一国民学校の楠公父子像		中畑町宮前	公民館前に花崗岩製の父子像が並ぶ、昭和 15 年 (1940) 建立	—	129	
214	その他	平坂国民学校の奉安殿		平坂町熊野	熊野神社境内、RC 造西洋式神殿風の庇と円柱とされる ^{*2}	—	—	
215	その他	阿弥陀寺の梵鐘代替品		国森町郷北	コンクリート製、高さ 90cm 直径 75cm、中は空洞、鐘樓に安置とされる ^{*2}	—	—	
216	その他	養寿寺の梵鐘代替品		下矢田町郷	コンクリート製、高さ 107cm 直径 70cm 厚さ 10cm、中は空洞 ^{*1}	—	129	
217	軍事施設	鎧の壕		吉良町岡山字鎧	山麓の攻撃型坑道、幅高さ 2m 長さ 22.6m ^{*1}	—	130	
218	軍事施設	若宮前の壕		吉良町岡山若宮前	丘上に幅高さ 2m 長さ 22m の攻撃型坑道があったとされる ^{*2}	—	—	
219	軍事施設	山王山の壕		吉良町岡山山王山	善光寺沢南古墳の墳丘北側に坑道入口、入口に板が立てられ内部確認不可	—	130	
220	空襲・戦災	大通院の機銃弾跡	吉良町寺嶋字手洗	戦闘機による銃撃、本堂の敷居を貫き縁板に 20cm の穴 ^{*1}	—	130		
221	軍事施設	道ヶ塚の壕	吉良町友国字道ヶ塚	山腹の坑道式掩蔽部、コの字形、本体部分幅 1.7 ~ 2.0m、高さ 1.9 ~ 2.4m、長さ約 17.0m	—	61~64		
222	軍事施設	饗庭の壕	吉良町饗庭	坑道式掩蔽部、丘上の銃砲台、山腹の棲息型坑道	—	130		
223	その他	願成寺の梵鐘代替品	吉良町白浜新田	コンクリート製高さ 136cm 直径 84cm、西尾市塩田体験館蔵 ^{*1}	—	131		
224	軍事施設	海洋道場の建物	東幡豆町小見行田	海軍軍人らが青少年に海洋訓練を行った施設、個人の別荘を転用したもの	—	131		
225	軍需工場	寺部射場の境界柱	幡豆町寺部字下宇頭	名古屋陸軍造兵廠関係、「陸軍」銘石製境界柱	—	131		
226	軍事施設	茶臼山の壕	幸田町	須美	攻撃型坑道 2 基、幅高さ 2m 長さ 12m ほど ^{*1}	—	131	
227	空襲・戦災	大日本兵器 (株) の被弾煙突		菱池	現 MRC 幸田 (株) の煙突に機銃弾跡があったとされる ^{*2}	—	—	
228	軍需工場	大日本兵器 (株) の射撃場		菱池	現 MRC 幸田 (株) 内にコンクリート造坑道型射撃場があったとされる ^{*2}	—	—	
229	軍事施設	馬力沢の壕		深溝字馬力沢	山頂部に攻撃型坑道 2 基、崩落進み入坑不可とされ現在も確認できず ^{*2}	—	—	
230	軍事施設	下嶋の壕		深溝字下嶋	山麓に幅 3m 高さ 2m 長さ不明の攻撃型坑道があったとされる ^{*2}	—	—	
231	軍事施設	江丁の壕		深溝字江丁	山腹部に棲息型コの字形坑道 2 基、攻撃型坑道 1 基があったとされる ^{*2}	—	—	
232	軍事施設	須美南山の壕		須美字須美南山	茶臼山東方斜面谷間に幅高さ 1.8m 長さ 10m ほどの壕が 4 基あったとされる ^{*2}	—	—	
233	その他	中設楽国民学校の乃木希典像		東栄町	中設楽	中設楽小学校に花崗岩製、像の高さ 135cm、昭和 15 年 (1940) 建立 ^{*1}	—	132
234	その他	本郷防空監視哨			本郷字西山	山頂に一辺 4.3m の哨舎のコンクリート基礎があったとされる ^{*2}	—	—
235	その他	海老防空監視哨		新城市	海老	山頂に哨舎の石積みの土台、一辺 4.5m ^{*1}	—	132
236	その他	海老小学校の奉安庫跡	海老字宮ノ前		昭和 15 年 (1940) 建立、御真影・教育勅語は海老神社所蔵とされる ^{*2}	—	—	
237	その他	鳳来寺大仏 (薬師如来) の台座	門谷	門谷字鳳来寺	金属供出のため仏像は失われ台座のみ残存とされる	—	132	
238	その他	鳳来山東照宮の三代狛犬		門谷字鳳来寺	日清、日露、太平洋戦争の出征者が狛犬を削りその欠片をお守りとしたとされる	—	132	
239	その他	門谷国民学校の奉安庫		門谷	木造校舎東端に奉安庫の張り出し	—	133	
240	軍事施設	井代の海軍壕	細川	井代字大貝津	坑道 3 基 (1 基は幅 4m 高さ 2m 長さ 35m) があったとされる ^{*2}	—	—	
241	その他	細川国民学校の御真影奉掲所		細川	昭和 14 年 (1939) 建、木造講堂正面奥、現細川公民館の一部とされる ^{*2}	—	—	

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
242	その他	臼子の防空壕群	新城市	豊栄	防空壕群、山の斜面などに残存	—	133
243	その他	富栄国民学校の御真影奉掲所		富栄	昭和13年(1938)建、木造2階建校舎の2階西端(解体滅失)とされる ^{*2}	—	—
244	その他	大野防空監視哨		大野字火燈山	山頂に4.5m×2.7mの哨舎のコンクリート基礎、聴音壕跡があったとされる ^{*2}	—	—
245	軍事施設	浅谷の保管壕		浅谷	坑道入口部の陥没14箇所、弾薬庫とされる ^{*2}	—	—
246	軍事施設	大海の保管壕		大海	坑道が10数基あったとされ、坑道入口部6箇所確認とされる ^{*2}	—	—
247	軍事施設	須長の保管壕		須長	坑道入口部の陥没8箇所、弾薬庫とされる ^{*2}	—	—
248	軍事施設	竹生神社の保管壕		杉山字行時	爆薬保管壕と思われる壕、坑道跡があったとされる ^{*2}	—	—
249	その他	新城国民学校の御真影奉掲所		西入船	昭和11年(1936)建、RC造講堂正面、現新城市立新城小学校とされる ^{*2}	—	—
250	その他	桜淵の奉安殿		桜淵	桜淵公園内に2基あり、忠魂碑のそばに残存	—	133
251	その他	八幡神社の防空壕		中宇利字坂	山の斜面に残存、幅約1m、高さ約1.5m、奥行き約5m ^{*1}	—	133
252	軍事施設	慈廣寺の壕		中宇利字大幡	掘割壕2基など	—	134
253	軍事施設	洞雲寺の壕		富岡字半原田	壕跡らしき落ち込み	—	134
254	軍事施設	車神社の壕		富岡字林添	幅2.5m長さ6mの壕、幅0.9m長さ4mの壕など ^{*1}	—	134
255	その他	八名の奉安殿		富岡字大廻	石階段と標柱のみ残存、標柱は昭和5年(1930)建立	—	134
256	その他	平尾山防空監視哨		富岡字南川	山中に石垣	—	135
257	その他	日露戦役の凱旋門	豊川市	萩町塩ノ田	日露戦争の凱旋を祝した凱旋門、明治39年(1906)1月建立	—	135
258	軍需工場	千両配水場の配水池		千両町下当	標高60mほどの高台にあり、一宮の大和水源地から取水し工廠に供給していた	—	135
259	軍需工場	豊川海軍工廠の試射場		千両字滝ノ入	現陸上自衛隊千両演習場、コンクリート造の建物1棟	—	135
260	空襲・戦災	砥鹿神社西参道被災石鳥居		一宮町社	昭和20年(1945)8月7日の空襲により被災、後に諏訪神社から移転	市指定	24
261	軍需工場	宮田の壕		市田町宮田	宮池西の山麓に素掘り防空壕	—	136
262	その他	御油国民学校の奉安殿		御油町今齋	木造切妻造平入瓦葺、板張壁、東林寺境内にあったとされる ^{*2}	—	—
263	軍需工場	大和水源地		豊津町上川原	海軍工廠へ配水するために豊川付近に設置された水源地、境界柱が残されている	—	136
264	軍需工場	旧第一火薬庫・旧第三信管置場(豊川海軍工廠)		穂ノ原	RC造建物1棟、煉瓦造建造物1棟、土塁など	市指定	21
265	空襲・戦災	豊川海軍工廠の被災建物・爆弾穴		穂ノ原	煉瓦造2棟、直径8mの穴など、現名古屋大学宇宙地球環境研究所敷地内 ^{*1}	—	136
266	軍需工場	豊川海軍工廠の旧線路ゲート門柱		穂ノ原	旧西豊川駅から工廠への専用線に設置されていたゲートの門柱跡とされる ^{*2}	—	—
267	軍需工場	豊川海軍工廠の会計部衛生班詰所の基礎		穂ノ原	会計部衛生班詰所跡、現陸上自衛隊豊川駐屯地内	—	136
268	軍需工場	豊川海軍工廠の光学部研磨工場		穂ノ原	光学部研磨工場、現陸上自衛隊豊川駐屯地内	—	137
269	軍需工場	豊川海軍工廠の水路と土塁(拡張前)		穂ノ原	豊川海軍工廠時代(拡張前)の水路と土塁、現陸上自衛隊豊川駐屯地内	—	137
270	軍需工場	豊川海軍工廠の水路と土塁(拡張後)		穂ノ原	豊川海軍工廠時代(拡張後)の水路と土塁、現豊川海軍工廠平和公園北側に土塁、外周縁に排水路	—	137
271	軍需工場	豊川海軍工廠の街路灯		穂ノ原	街路灯(11本)、現豊川海軍工廠平和公園及び陸上自衛隊豊川駐屯地内	—	137
272	軍需工場	豊川海軍工廠の機銃部図庫		穂ノ原	図面等を保管した建物、鉄筋コンクリート・ラーメン構造2階建	—	138
273	軍需工場	豊川海軍工廠の正門		穂ノ原	旧豊川海軍工廠の正門、現在は日本車輛製造(株)豊川製作所の正門	—	138

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
274	軍需工場	豊川海軍工廠の火工部雷管試験場	豊川市	穂ノ原	旧火工部雷管試験場、現トピー工業(株)敷地内	—	138
275	軍需工場	豊川海軍工廠の引込み線		桜木通	佐奈川に架かる昭和16年(1941)製造の橋梁、現日本車輛製造(株)豊川製作所引込み線	—	138
276	軍需工場	西豊川駅跡		桜木通	豊川駅と豊川海軍工廠を結んだ駅跡	—	139
277	空襲・戦災	諏訪神社の狛犬		諏訪西町	昭和20年(1945)8月7日の空襲により被災した狛犬	—	139
278	空襲・戦災	長栄寺の西国三十三観音		諏訪西町	昭和20年(1945)8月7日の空襲により被災した石仏	—	139
279	軍需工場	豊川海軍工廠の海軍境界柱(ひまわり農協本店北西側交差点)		諏訪	海軍用地であったことを示す境界柱	—	139
280	空襲・戦災	豊川海軍工廠のケヤキ並木		諏訪	工廠時代に正門前に植えられたケヤキ並木	—	140
281	その他	諏訪墓地		新道町	昭和20年(1945)8月7日の空襲の犠牲者が仮埋葬された墓地	—	140
282	軍需工場	豊川海軍工廠の海軍境界柱(中央通り5丁目交差点付近)		中央通	海軍用地であったことを示す境界柱	—	140
283	軍事施設	横須賀海軍警備隊 大恩寺山防空砲台及び第一聴測所		御津町広石御津山・広石蛇塚	大恩寺山に防空陣地跡、その西方尾根上にコンクリート製の聴音機台座など聴測所跡	—	65~68
284	軍事施設	権現山の壕		三上町権現下	山の斜面に方形の壕4基、コの字形の坑道式掩蔽部1基	—	140
285	その他	牛久保国民学校の奉安殿		牛久保町常磐	木造切妻造瓦葺、壁・扉とも銅板張、八幡宮境内に移築	—	141
286	その他	三谷の乃木希典像	蒲郡市	三谷長齋久	乃木山に花崗岩製、像の高さ約400cm、大正9年(1920)建立 ^{*1}	—	141
287	軍事施設	石巻西川町大福寺の壕	豊橋市	石巻西川町城山	壕、交通壕らしき痕跡	—	141
288	軍事施設	石巻西川町欠下の壕		石巻西川町欠下	幅3m長さ4mの掘割壕5基、幅2.5m長さ2mの小壕1基があったとされる ^{*2}	—	—
289	軍事施設	石巻西川町鐘平の壕		石巻西川町鐘平	坑道入口部通路4基、幅1m長さ3.5mの横穴2基があったとされる ^{*2}	—	—
290	軍事施設	石巻小野田町出口の壕		石巻小野田町南出口	坑道入口部通路とタコツボ、弾薬庫、掘割壕2基があったとされる ^{*2}	—	—
291	軍事施設	石巻小野田町南の壕		石巻小野田町	幅3m長さ5mの掘割壕7基、幅2.8m長さ3mの壕など6基があったとされる ^{*2}	—	—
292	軍事施設	石巻中山町大門の壕		石巻中山町大門	幅2~2.8m長さ3~7mの掘割壕が6基あったとされる ^{*2}	—	—
293	軍事施設	石巻平野町南の壕		石巻平野町象之谷	幅3m長さ3~10mの掘割壕18基、通路付掩壕2基があったとされる ^{*2}	—	—
294	軍事施設	石巻本町日名倉の壕		石巻本町日名倉	幅2m長さ6mの掘割式で入口部屈曲の壕26基(大部分滅失)があったとされる ^{*2}	—	—
295	軍事施設	権現山防空砲台		石巻本町北入田	豊川海軍工廠防衛の砲台、直径10.5mの砲座の土塁、砲台はかつて2基存在、建設中終戦 ^{*1}	—	141
296	軍事施設	石巻本町南山の壕		石巻本町南山	山の斜面に壕跡7基	—	142
297	軍事施設	馬越長火塚古墳・宮西古墳の保管壕		石巻本町紺屋谷・北山	2つの古墳の横穴式石室を保管壕として利用	国指定、市指定	24
298	軍事施設	石巻本町瀬戸の壕		石巻本町瀬戸	方形の壕2基、タコツボと思われる窪地	—	142
299	軍事施設	石巻本町向野の壕		石巻本町向野	方形の壕3基	—	142
300	軍事施設	石巻町南山の壕		石巻町南山	幅2.6m長さ6mなど掘割壕20基、戦車壕など20基があったとされる ^{*2}	—	—
301	軍事施設	石巻町北山甲の壕		石巻町北山甲	幅3m長さ6~9mの掘割壕9基、タコツボ1基とされる ^{*2}	—	—
302	軍事施設	嵩山町奈木の壕		嵩山町奈木	方形の壕4基	—	142
303	軍事施設	本坂峠の壕		嵩山町浅間下	国道362号線沿いに、斜面を掘り開いた掘割壕が6基あったとされる ^{*2}	—	—
304	軍事施設	嵩山町神畑の壕		嵩山町神畑	長池の谷間に保管用掘割壕が5基あったとされる ^{*2}	—	—

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
305	軍事施設	歩兵第十八連隊兵営	豊橋市	今橋町	連隊本部跡、門、哨舎、弾薬庫、貴賓室、ライオンの石造装飾など	—	69~72
306	その他	豊橋公園の神武天皇像		今橋町	銅像、像の高さ約250cm、明治32年(1899)八町練兵場南に建立、戦後移設 ^{*1}	—	143
307	空襲・戦災	豊川堤防上の被災棟		湊町	豊川左岸堤防上に被災した棟2本	—	143
308	軍事施設	馬見塚町の軍防空壕		馬見塚町	専願寺境内に陸軍築造のコンクリート造防空壕があったとされる ^{*2}	—	—
309	軍事施設	多米町蟬川の壕		多米町蟬川	幅2.8m長さ15m掘割壕8基、タコツボ3基、L型坑道1基があったとされる ^{*2}	—	—
310	その他	多米配水場の偽装跡		多米町蟬川	配水池点検通路入口煉瓦壁に黒色偽装跡	国登録	24
311	軍事施設	多米町滝ノ谷の壕		多米町滝ノ谷	長さ20m、51m、1.3m(掘りかけ)の坑道が3基あったとされる ^{*2}	—	—
312	軍事施設	多米町赤岩山の壕		多米町赤岩山	幅1.4m高さ1.8m長さ7.3mの素掘り防空壕があったとされる ^{*2}	—	—
313	軍事施設	多米町福田の壕		多米町福田	長さ9~15.5mの爆風除通路付きの坑道が4基あったとされる ^{*2}	—	—
314	軍事施設	牛川町の戦車壕		牛川町乗小路	掘割式戦車壕2基と交通壕らしき窪地	—	143
315	その他	豊橋陸軍墓地		東田町	日清・日露戦争合葬墓、個人墓84基ほか	—	73~76
316	その他	三ツ山古墳の防空壕と退避壕		牟呂町	三ツ山古墳の前方形に作られた防空壕、墳丘側面に退避壕を掘削とされる ^{*2}	—	—
317	軍事施設	工兵第三連隊の炊事場		向山町中畑	明治41年(1908)建、煉瓦造切妻造平屋建、現在民間の倉庫	—	143
318	軍事施設	向山のトーチカ・境界柱		向山町	「陸軍用地」銘石製境界柱2基、トーチカ、現向山緑地内	—	77,78
319	軍事施設	岩崎町南麓の壕		岩崎町内山	掘割壕6基、坑道7基、タコツボ、交通壕があったとされる ^{*2}	—	—
320	軍事施設	岩崎町長尾の壕		岩崎町長尾	独立戦車第八旅団の燃料貯蔵壕など	—	144
321	軍事施設	岩田町の壕		岩田町南山	素掘りのコの字形坑道が4基あったとされる ^{*2}	—	—
322	軍事施設	陸軍第十五師団長官舎		高師石塚町	現愛知大学公館、木造瓦葺平屋建、敷地内には土塁など現存	市指定	21,79~82
323	軍事施設	豊橋憲兵分隊の門		富本町	コンクリート造の門柱と土塁跡	—	144
324	軍事施設	騎兵第十九連隊		橋良町	土塁、門跡、現豊橋市立福岡小学校	—	144
325	軍事施設	野砲兵第二十一連隊		橋良町	土塁、擁壁の一部、現時習館高等学校	—	144
326	軍事施設	陸軍下水溝		町畑町・橋良町・中野町・草間町	幅2尺・3尺の下水溝、現在も使用中 ^{*1}	—	145
327	軍事施設	陸軍排水路		小浜町ほか	山田川、内張川を排水路として改修、掘削された小浜線には石積みや橋が現存	—	145
328	軍事施設	陸軍第十五師団司令部庁舎		町畑町	現愛知大学記念館(旧本館)	国登録	21,79~82
329	軍事施設	豊橋陸軍予備士官学校(第十五師団)		町畑町・北丘町ほか	陸軍教導学校正門、大講堂、将校集会所、庭園、塀、土塁など、現愛知大学	—	79~82
330	軍事施設	第三師団兵器部豊橋出張所正門		町畑町	コンクリート造の門と哨舎、塀、現豊橋市立南部中学校南西	—	145
331	軍事施設	第三師団兵器部豊橋出張所兵器支廠通用門		町畑町	門柱、擁壁跡、現豊橋市立南部中学校・栄小学校	—	145
332	軍事施設	騎兵第二十五連隊の兵舎		中野町	木造切妻造瓦葺モルタル塗り、現ユタカ産業(株)とされる ^{*2}	—	—
333	軍事施設	騎兵第二十五連隊の遺構		中野町	土塁、門跡があったとされる、現豊橋市立中野小学校・スーパーマーケット ^{*2}	—	—
334	軍事施設	騎兵第二十六連隊		中野町	土塁、門柱、現スーパーマーケット・豊橋南郵便局	—	146

番号	種別	名 称	市町村	所在地	説 明	指定 登録	本文 掲載
335	軍事施設	輜重兵第十五大隊	豊橋市	草間町	土塁、門柱、現愛知県立豊橋工科高等学校・豊橋聾学校	—	146
336	軍事施設	騎兵第二十六連隊の門・哨舎		王ヶ崎町	煉瓦造門柱とコンクリート造哨舎（移設）、慰霊碑	—	146
337	軍事施設	高師原練兵場の防火用水槽		南栄町	高師原練兵場、コンクリート造一辺 4.5m の六角形とされる ^{*2}	—	—
338	軍事施設	高山陸軍射撃場		飯村町	第十五師団の射撃場として設置、現陸上自衛隊高山射撃場	—	146
339	軍事施設	豊橋軍用水道貯水池		飯村町	明治 45 年（1912）完成、現高山配水場、門跡、土塁、壕跡	—	147
340	軍事施設	第七十三師団高山戦闘指揮所		飯村町高山	コンクリート造、現高山配水場構内	—	83~86
341	軍事施設	小浜の戦車壕		小浜町	台地の端に幅 2.5m 長さ 6m 余の戦車格納壕 3 基 ^{*1}	—	147
342	軍事施設	雲谷町の陣地		雲谷町上ノ山	砲座付坑道式掩蔽部、坑道入口があったとされる ^{*2}	—	—
343	軍事施設	独立重砲兵第三十七大隊二十四榴弾砲陣地		大岩町火打坂	24 榴弾砲砲座 1 基、半壊 1 基のほか方形の壕や坑道式掩蔽部	—	147
344	軍事施設	第七十三師団重機関銃陣地		大岩町火打坂	坑道式掩蔽部、銃眼付き	—	147
345	軍事施設	大岩町北山陣地		大岩町北山	監視所、坑道式掩蔽部の入口、交通壕など	—	148
346	軍事施設	野戦重砲兵第五十三連隊の砲台		大岩町北山	野戦重砲用のコンクリート造砲台	—	148
347	軍事施設	高師原陸軍演習廠舎		高師町	高師緑地公園内に土塁、多数の松にV字形傷跡、航空機燃料に使用	—	148
348	軍事施設	豊橋海軍航空隊基地の壕		老津町	入口がコンクリート造の燃料庫、コンクリート造の通信施設	—	87~90
349	その他	老津の防空壕		老津町岩塚	台地端に個人のコンクリート造防空壕があったとされる ^{*2}	—	—
350	軍事施設	老津陸軍演習廠舎		老津町池上	コンクリート造水槽 2 基	—	148
351	軍事施設	天伯原陸軍演習場の監的所		東七根町	コンクリート製の直方体の建物、観測窓が東北方向に 3 箇所あったとされる ^{*2}	—	—
352	軍事施設	小松原の陣地		小松原町坪尻	交通壕と土坑、トーチカ（大半埋没）があったとされる ^{*2}	—	—
353	軍事施設	東観音寺の隠蔽壕		小松原町坪尻	第七十三師団機関銃中隊の馬用隠蔽壕	—	149
354	軍事施設	細谷の陣地		細谷町	第七十三師団速射砲隊陣地、トーチカ、交通壕と坑道	—	149
355	軍事施設	小島の陣地		小島町	トーチカの砲口・換気口のみ露出、交通壕と銃座があったとされる ^{*2}	—	—
356	軍事施設	暗り谷の陣地		東七根町暗り谷	爆破されたトーチカと通路、棲息型坑道（崩落）前通路	—	149
357	軍事施設	谷合の陣地		西七根町谷合	崩落した坑道跡、交通壕、2.5m × 2.3m の砲座跡があったとされる ^{*2}	—	—
358	軍事施設	東横根の陣地		東赤沢町東横根	幅 1.5m 余、高さ 1.8m、奥行 3 ~ 5m の横穴壕 7 基 ^{*1}	—	149
359	軍事施設	観音堂の陣地		東赤沢町観音堂	小銃もしくは機関銃用掩体 5 基	—	150
360	軍事施設	名操の陣地		高塚町名操	トーチカ入口はコンクリートで塞がれ、大部分埋没	—	150
361	軍需工場	豊川海軍工廠の試砲場		伊古部町枇杷谷	コンクリート建造物 2 棟、土塁、現豊橋市野外教育センター内	—	150
362	軍事施設	貴船神社裏の交通壕		西赤沢町郷ノ内	幅 1m 深さ 0.8m 長さ 80m の交通壕、西方にタコツボ 2 基 ^{*1}	—	150
363	軍事施設	伊古部の陣地		伊古部町	土塁、コンクリート基礎、トーチカ破壊跡	—	151
364	軍事施設	城下町細田の陣地		城下町細田	外法 4.8m × 5m 高さ 2.3m の速射砲用砲台 ^{*1}	—	151
365	軍事施設	豊橋海軍航空隊基地		明海町・大崎町・船渡町	護岸石垣、列柱、海軍橋（平嶋橋）、コンクリート造地下倉庫	—	151

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
366	軍事施設	老津陸軍飛行場	豊橋市	植田町・野依町	タコツボ2基、土製掩体1基	—	151
367	軍事施設	城下の陣地		城下町恵下・築地ノ内	畔田城跡に多数の交通壕、銃砲台予備陣地としての平坦地	—	152
368	その他	伊良湖神社の兵士像	田原市	日出町大越	地元出身で日中戦争で戦死した兵士の石像、田原市博物館が資料所蔵	—	152
369	軍事施設	伊良湖水道機雷封鎖監視所		日出町骨山	伊勢防備隊、コンクリート基礎、素掘り防空壕（埋没）があったとされる ^{*2}	—	—
370	軍事施設	外浜観測所		日出町骨山	伊良湖試験場の施設、煉瓦造幅2m奥行き2.7mとされる ^{*2}	—	—
371	軍事施設	骨山の陣地		日出町骨山	ビューホテル東方に、攻撃型坑道陣地があったとされる ^{*2}	—	—
372	軍事施設	28 榴弾砲陣地		日出町骨山ほか	直径9mの砲座、その他の掩壕があったとされる ^{*2}	—	—
373	軍事施設	伊良湖岬の陣地		伊良湖町古山	壕跡と思われる窪地4箇所、かつては東山腹に横穴・縦穴の坑道、砲台跡があったとされる	—	152
374	軍事施設	和名山の陣地		堀切町和名山	西方中腹に坑道、神社に防空壕	—	152
375	空襲・戦災	和名山の爆弾穴		堀切町和名山	山頂部に爆弾穴と思われる巨大な穴	—	153
376	軍事施設	一色機関銃陣地		和地町前畑	磯浜にコンクリート造弾薬庫、岩礁に銃座	—	153
377	軍事施設	一色観測所		和地町寺口	伊良湖試験場の施設、煉瓦造幅2.7m奥行き4.8mとされる ^{*2}	—	—
378	軍事施設	和地の壕		和地町北山	電話穴の残る素掘り通信壕3基、長さ10m余の素掘り坑道があったとされる ^{*2}	—	—
379	軍事施設	小塩津の陣地		小塩津町藤尾	坑道の入口が山腹に6箇所（埋没）	—	153
380	軍事施設	越戸の陣地		越戸町古今	大山の東部北側斜面に幅1.2m高さ2m長さ10mの坑道があったとされる ^{*2}	—	—
381	軍事施設	山田の陣地		山田町郷戸	30 榴弾砲砲台の直径7mの壕、コの字形坑道などがあったとされる ^{*2}	—	—
382	軍事施設	鬼墮の陣地		若見町鬼墮	山頂部に幅1.8m高さ2m長さ52mの攻撃型坑道があったとされる ^{*2}	—	—
383	軍事施設	陸軍第一技術研究所伊良湖試験場		小中山町八幡上、古田町岡ノ越、伊良湖町宮下ほか	伊良湖試験場の施設、正門、監的、信管試験施設など	—	91~94
384	軍事施設	高松の陣地		高松町尾村崎	山腹の斜面に坑道の開口部2箇所	—	153
385	軍事施設	野田の監視哨		野田町小山	山頂に哨舎のコンクリート基礎、「陸軍」銘石製境界柱	—	154
386	その他	西圓寺のコンクリート製梵鐘		田原町巴江	金属供出の代替品として作られたコンクリート製の鐘	—	154
387	軍事施設	笠山の機関銃陣地		浦町笠山	笠山東側山麓に坑道式掩蔽部2基	—	154
388	軍事施設	蔵王山の陣地		吉胡町・田原町・白谷町	坑道、砲車通路など多数	—	154

種 別

種別	件数			
	現存	不明	滅失	
軍事施設	160	102	50	8
軍需工場	46	34	7	5
空襲・戦災	41	34	1	6
その他	141	110	20	11
合計	388	280	78	30

ステータス別

ステータス	件数	比率
現存	280	72.2%
不明	78	20.1%
滅失	30	7.7%
合計	388	